

II 令和元年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、豚熱及び口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

イ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

ウ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

エ 牛のアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、イバラキ病及び牛流行熱

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚熱、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	ブルセラ病	6,236	6,236	0	0	告示 6,052頭 告示外 184頭
	結核病	6,266	6,266	0	0	告示 6,052頭 告示外 214頭
	ヨーネ病	18,473	18,465	0	8	告示 10,634頭 告示外 7,839頭
	ピロプラズマ病	1,539	1,533	0	6	放牧予定牛 1,169頭 放牧牛 370頭
	EBL (牛白血病)	10,628	7,229	0	3,399	抗体検査 9,423頭 遺伝子検査 1,205頭
	牛ウイルス性下痢 粘膜病(BVD-MD)	5,680	5,651	0	29	放牧予定牛1,203検体 その他 4,477検体
	牛流行熱等検査	105	105	0	0	告示 105頭
	牛伝染性疾病検査	211,243	211,243	0	0	
	牛海綿状脳症 (採材業務)	642	642	0	0	告示(県内牛) 639頭 告示外(県内牛) 3頭
	馬伝染性貧血	31	31	0	0	
	馬伝染性子宮炎	0	0	0	0	
	馬パラチフス	2	2	0	0	
	馬伝染性疾病検査	368	368	0	0	
	豚熱	155	155	0	0	
	オーエスキー病	648	648	0	0	
	PRRS (豚繁殖・ 呼吸障害症候群)	1,482	911	0	571	
	豚流行性下痢	72	20	0	52	
	豚伝染性疾病検査	1,105,213	1,105,213	0	0	
	高病原性鳥インフルエンザ [※] 低病原性鳥インフルエンザ [※]	550	547	3	0	告示 430羽 告示外 120羽
	家きんサルモネラ感染症 検査	18	18	0	0	告示 18羽
	鶏伝染性疾病検査	3,929,880	3,929,880	0	0	
	腐蛆病	1,047	1,047	0	0	告示 895群 告示外 152群
その他	着地検査	牛1件94頭 豚1件 2頭 馬4件15頭	牛94 豚2 馬15	0 0 0	0 0 0	

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用繁殖雌牛のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛についてはヨーネ病検査のみ実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計	
検査戸数	3	50	4	1	2	60	
検査頭数	乳用牛	110	5,658	156	※3	122	6049
	肉用牛	0	420	0	0	0	420

【検査成績】 7頭ヨーネ病陽性

※肉用牛農場で飼養されている乳用牛

イ 肉用繁殖雌牛のヨーネ病検査（酪農家の飼養牛を除く）

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	85	0	0	1	0	86
検査頭数	1,296	0	0	1,431	0	2,727

【検査成績】 全頭陰性

ウ 放牧予定牛のヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	29	86	3	40	15	173
検査頭数	93	368	21	494	36	1,012

【検査成績】 全頭陰性

エ 種畜（種雄牛）のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	1	0	0	0	2
検査頭数	5	1	0	0	0	6

【検査成績】 全頭陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査（法第5条に基づく検査）

管内市町及び県内・種類別の搬入状況

市町	乳用牛		肉用牛		総計
	ホルスタイン	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	39	0	10	0	49
那須塩原市	244	1	35	0	280
那須烏山市	9	0	9	0	18
那須町	37	0	22	0	59
那珂川町	6	0	13	0	19
管内合計	335	1	89	0	425
県内合計	468	1	170	0	639

【検査成績】 全頭陰性

- ※当所は、附属検査施設で、栃木県全域の死亡牛の受付、検体採取・送付、死亡牛の一時保管及び陰性確認後の搬出作業を実施（月曜～金曜）。夏季のみ土曜・祝日受付・搬入のみ業者委託）
- ・ELISA検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施（原則採材2日後）

カ 牛流行熱等抗体調査

病名	戸数	頭数	6月		8月		9月		11月	
			<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤
アカバネ病	9	27	23	4	26	0	26	0	26	0
チュウザン病			27	0	26	0	26	0	26	0
アイウイルス感染症			27	0	26	0	26	0	26	0
イバラキ病			27	0	26	0	26	0	26	0
牛流行熱			27	0	26	0	26	0	26	0

※大田原市1戸、那須塩原市4戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸

【検査成績】各疾病とも流行は認められなかった。

キ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	9	13	13	2	9	46
検査群数	131	486	120	25	133	895

【検査成績】全例陰性

ク 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (大田原市、那須塩原市、 那須烏山市)	ウイルス分離※ (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

10月から5月にかけて、管内7農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
7戸 (大田原市1戸、那須塩原市2戸、 那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリーII農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査頭数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査	
9戸 (大田原市2戸、那須塩原市6戸、 那須町1戸)	3,136	2,340	1頭患畜

清浄性が確認された農場：1戸（大田原市1戸）

イ EBL（牛白血病）

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査戸数(延べ)	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	142	4,829	1,513	3,316
遺伝子検査	39	441	345	96

ウ 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）

抗原・抗体検査及び遺伝子検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査戸数(延べ)	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
中和抗体検査	67	402	256(248)	146
ウイルス分離	84	461	40(32)	421
遺伝子検査	161	1,618	47(39)	1,571
抗原エライザ検査	153	4,122	25	4,097

(実頭数)

エ 豚熱（CSF）

清浄性の確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
15	150	全例陰性

オ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体 陽性頭数	野外抗体 疑陽性頭数	野外抗体 陰性頭数
26	567	0	0	567

カ PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
26	1,053	478	575

キ PED（豚流行性下痢）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
7	66	26	40

ク ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数	羽数	抗体陰性羽数	抗体陽性羽数
12	439	53	386

ケ 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリレヱチカム	55	546	357	2	187
マイコプラズマ・ソルビエ			419	2	125

コ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
12戸 (那須烏山市1戸、那珂川町11戸)	72	全群陰性

(5) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査

放牧場での伝染性疾患のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
EBL(牛白血病)	1,119	233	886
ピロプラズマ病	1,169	1	1,168
BVD-MD	1,203	0	1,203

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共放牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾患の早期発見及び早期治療に努めた。

(ア) 放牧状況

区分	大田原市 大野放牧場		那須塩原市 八郎ヶ原放牧場	那須町共同利用模範牧場	
	乳用牛	和牛	乳用牛	乳用牛	乳用牛
種類				EBL陰性牧区	EBL陽性牧区
放牧期間	H31.4.16～ R1.11.1	R1.5.13～ R1.11.1	R1.5.28～ R1.10.23	R1.5.8～ R1.10.13	R1.5.13～ R1.11.8
放牧頭数	21	40	53	364	54
衛生検査回数	10	9	8	9	
主な疾病	下牧場時に1頭事故死		真菌症 乳頭腫 ピロプラズマ病	真菌症 乳頭腫 趾間腐爛	
備考			鹿の食害あり	周年預託牛あり	

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ病

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	0/5	0/12	0/16	0/14	0/14	0/7	0/7
八郎ヶ原放牧場			1/19	2/20	1/10	0/9	1/9
那須模範牧場		0/44	0/50	0/53	0/25	0/28	0/28

b 牛肺虫症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場					0/20	0/20	
八郎ヶ原放牧場					0/20	0/20	
那須模範牧場					0/20	0/20	

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防に資するため、管内の家きん100羽以上(だちょうは10羽以上)を飼養する農場から毎月1回、1か月間の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

区分	採卵	肉用	種鶏 (採卵)	種鶏 (肉用)	放鳥 (きじ)	展示 (だちょう)	計
1,000羽以上	10	3	2	1	2	0	18
100羽以上*	9	0	0	0	0	0	9
計	19	3	2	1	2	0	27

(6) 病性鑑定

原因不明の疾病について、獣医師や飼養者からの依頼により、原因究明の検査及び防除のための衛生指導を実施した。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数 (総件数：延べ189件 総頭羽数：延べ647頭羽)

畜種	大田原市		那須塩原市		那須烏山市		那須町		那珂川町		計	
	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数
乳用牛	8	43	48	120	5	5	7	41	1	1	69	210
肉用牛	31	64	40	237	7	15	15	26	4	9	97	351
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	2	41	6	13	0	0	0	0	0	0	8	54
緬山羊	1	1	6	6	0	0	0	0	0	0	7	7
鶏	2	15	0	0	0	0	1	2	0	0	3	17
その他*	3	3	1	1	0	0	1	4	0	0	5	8
計	47	167	101	377	12	20	24	73	5	10	189	647

*その他：環境等

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数 (総検体数：1,002検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
糞便	139	147	25	32	9	352
死体及び生体	30	32	3	6	1	72
血液	100	224	24	15	0	363
その他*	155	16	4	35	5	215
計	424	419	56	88	15	1,002

*その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

ウ 令和元年度に診断された主な感染症

下表に示すように、様々な疾病が確認されました。

畜種	症状	疾病名
牛	下痢症	牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、サルモネラ症、クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム病、消化管内線虫症
	呼吸器病	牛伝染性鼻気管炎、牛RSウイルス病、牛コロナウイルス病、牛パスツレラ症、牛マンヘミア症
	その他	クロストリジウム属菌による突然死、銅中毒
豚	下痢症	豚大腸菌症
蜜蜂	大量死	アカリダニ症